

セアカゴケグモは寒さに弱いのか?!～耐寒性実験結果報告～

環境科学課 益尾 実希

第 10 回福岡市技術研究発表会

本市では、市民の安全確保のためにセアカゴケグモの定期的駆除を実施している。寒さに弱いと言われているセアカゴケグモであるが、冬季においても発見・駆除されていることから効果的な駆除等に役立てるため耐寒性を調査した。本市の過去 10 年間の最低気温である -4°C では 85% の個体が生存し、全ての個体が死滅した温度は -8°C であった。以上の結果から、本市において通常の冬季の気温ではセアカゴケグモが越冬することが判明した。セアカゴケグモは 5 月頃から産卵を開始し、約 20 日で孵化するため、越冬する個体が多いと夏季に爆発的に増殖する。このことから産卵開始前である冬季も駆除を行う現行の取り組みを継続することが効果的であることが分かった。